

**第3期横浜市こどもの貧困対策に関する計画策定支援業務委託
提案書評価基準**

1 基本的な評価事項

受託候補者の特定にあたっては、本市にとって最適な事業者を選定するため、公募型プロポーザル方式を採用し、評価点の最も高い提案者を受託候補者とします。

2 評価点

提案書の内容及びヒアリングの内容を合せて評価し、評価点を与えます。評価委員1人あたりの評価点の満点は156点とします。

3 評価点の最も高い者が2人以上あるときの対応

評価委員の投票で多数決により当該同点者の順位を決定します。票数が同数の場合には委員長の判断により決定します。

4 評価委員会を欠席した評価委員の評価点の取り扱い

評価委員が評価委員会を欠席した場合、その評価委員会の評価点は無効とします。

5 評価方法

- (1) 評価項目、評価の着目点及び配点の詳細については、【表】プロポーザル評価表のとおりです。
- (2) 各評価項目について、A、B、Cの3段階評価を行います。評価はA＝5点、B＝3点、C＝0点とし、各項目の掛率を乗じた点数とします。

【例：掛率が2の場合】

評価がAであれば評価点は $5 \text{ 点} \times 2 = 10 \text{ 点}$

評価がBであれば評価点は $3 \text{ 点} \times 2 = 6 \text{ 点}$

評価がCであれば評価点は $0 \text{ 点} \times 2 = 0 \text{ 点}$

- (3) 加算項目の「ワーク・ライフ・バランスに関する取組、障害者雇用に関する取組、健康経営に関する取組」の各評価項目については、A、Bの2段階評価を行います。評価は、A＝1点、B＝0点とします。
- (4) 全ての評価項目を絶対評価により採点します。
- (5) 評価委員1人あたりの評価項目（加算項目を除く）の合計点の60%を基準点とします。
採点の結果、1人でも基準点に達しない場合は不適格とします。

【表】 プロポーザル評価表

[illegible][illegible]

合 計		156点
-----	--	------